



国立教育政策研究所

National Institute for Educational Policy Research

全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた
学習指導の改善・充実に向けた説明会

参考資料

平成26年度「全国学力・学習状況調査」

目的

- ◆ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◆ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◆ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

対象

国・公・私立学校の小学校第6学年，中学校第3学年 原則として全児童生徒

内容

- ◆ 教科に関する調査（国語，算数・数学）

主として「知識」に関する問題（A）	主として「活用」に関する問題（B）
<ul style="list-style-type: none">・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり，常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て，実践し，評価・改善する力 など

- ◆ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語の勉強は好きですか，授業の内容はどの程度分かりますか，一日にテレビを見る時間，読書時間，勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上や学習の定着に向けた取組，習熟度別少人数指導，教育の情報化，教員研修，家庭・地域との連携の状況 など

問題作成の基本的な考え方

各設問の正答率や誤答の状況から課題の有無を把握し、学習指導の改善・充実を図ることができるよう、特に、次の点に配慮して作成しています。

- ① 学習指導要領の理念・目標・内容等に基づくものとし、小学校の調査問題については小学校第5学年までに、中学校の調査問題については中学校第2学年までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられるものを、各領域等からバランスよく出題すること。
- ② 主として「知識」に関する問題（A）と主として「活用」に関する問題（B）を作成すること。
- ③ 教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等につながるよう、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題を出題すること。
- ④ 児童生徒が時間的余裕を持って解答に取り組むことができるよう、問題の分量が、調査時間（解答時間）に照らして適切なものとなるよう努めること。
- ⑤ 「4年間のまとめ」(※)で指摘した課題等、これまでの調査で見られた課題に関連した問題や、新たな観点からの問題も出題すること。

※ 国立教育政策研究所において、平成19～22年度の4回の調査結果を分析して、成果と課題を整理した報告書

全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～（概要）

○ 国立教育政策研究所において、平成19～22年度の4回の調査結果を分析して、「成果」と「課題」を整理した報告書「成果」として認められる内容（一例）

小学校国語	比較的自由度の高い条件で記述すること
小学校算数	示された図形の面積を求めること
中学校国語	話の内容から必要な情報を的確に聞き取り、適切な質問をすること
中学校数学	図形領域で、作図の手順の理解、基本的な平面図形の性質の理解、証明の中で根拠として用いられる平行線の性質の理解、2つの三角形が合同であることを判断する際に必要な辺や角の相等関係を指摘すること

「課題」として考えられる内容

小学校国語

<「話すこと・聞くこと」における課題>

- ① 司会の役割を果たしたり、立場や根拠を明確にしたりして話し合うこと

<「書くこと」における課題>

- ② 調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書くこと

<「読むこと」における課題>

- ③ 物語に登場する人物についての描写や心情、人物相互の関係を捉えること
- ④ 目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらを関係付けて読むこと

<「言語事項」(*)における課題>

- ⑤ 複数の内容を含む文を分析的・統合的に理解すること

中学校国語

<「話すこと・聞くこと」における課題>

- ① 資料の提示の仕方を工夫し、その方法を説明すること

<「書くこと」における課題>

- ② 文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くこと

<「読むこと」における課題>

- ③ 目的をもち、表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと

<「言語事項」(*)における課題>

- ④ 辞書に書かれている記述から、語句の意味を適切に捉えること

小学校算数

<「数と計算」における課題>

- ① 乗法や除法の意味を理解すること

<「量と測定」における課題>

- ② 求積に必要な情報(図形の長さ及び図形の性質)を取り出して面積を求めること

<「図形」における課題>

- ③ 図形の性質を基に事象を判断すること

<「数量関係」における課題>

- ④ 計算の順序についてのきまりなどを理解すること
- ⑤ 割合の意味を理解すること

中学校数学

<「数と式」における課題>

- ① 方程式における移項の意味を理解すること。方程式をつくって問題を解決するために数量の関係を捉えて2通りに表せる数量に着目すること

<「図形」における課題>

- ② 証明の必要性和意味を理解すること。円柱と円錐の体積の関係を理解すること

<「数量関係」における課題>

- ③ 2つの数量の関係が比例・反比例・一次関数の関係になることを理解すること。二元一次方程式の解を座標とする点の集合は直線として表されることを理解すること

<記述式問題における課題>

- ④ 予想した事柄を数学的な表現を用いて説明すること(事実・事柄の説明)
問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明すること(方法の説明)
事柄が成り立つ理由を説明すること(理由の説明)

<数学的に表現したり、数学的に表現されたものの意味を読み取ったりすることにおける課題>

- ⑤ 関係や法則などを式に表現したり、式の意味を読み取ったりすること

「解答類型」について

全国学力・学習状況調査では，一人一人の児童生徒の具体的な解答状況を把握できるよう，設定する条件などに即して解答を分類，整理するためのものとして，「解答類型」を設けています。

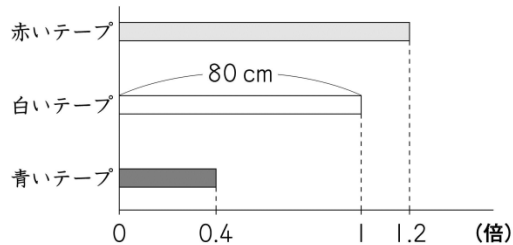
正誤だけではなく，一人一人の誤答の状況（どこでつまづいているのか）に着目して，学習指導の改善・充実を図ることができます。

※ 解答類型からつまづきを把握する例

平成26年度調査 小学校 算数A

2

下の図のように，白いテープの長さをもとにして，赤いテープと青いテープの長さを表しました。



(2) 青いテープの長さを求める式を，下の **1** から **4** までの中から1つ選んで，その番号を書きましょう。

- 1 $80 + 0.6$
- 2 $80 - 0.6$
- 3 80×0.4
- 4 $80 \div 0.4$

解答類型		反応率(%)
1	1 と解答しているもの	1.5
2	2 と解答しているもの	15.6
3	3 と解答しているもの (正答)	54.3
4	4 と解答しているもの	28.1
9	上記以外の解答	0.1
0	無解答	0.4

青いテープは，白いテープより短いことから，減法(解答類型2)や除法(解答類型4)で求められると判断

国立教育政策研究所における主な取組

平成26年4月22日（火） 調査実施

【解説資料】

- ・ 調査実施後、速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握し、それらを踏まえた学習指導の改善・充実に取り組む際に役立てることができるよう作成。
- ・ 各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述。

平成26年8月25日（月） 結果公表

【報告書】

- ・ 調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に取り組む際に役立てることができるよう作成。
- ・ 正答率、解答類型ごとの反応率、分析結果と課題、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述。

【授業アイデア例】

- ・ 課題が見られた事項について、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すものとして作成。

【説明会】

- ・ 教育委員会の担当指導主事等を対象に、調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実等について説明（今年度は、9月10日（水）に東京、9月30日（火）に福岡で開催）